

兵庫県診療情報管理研究会のコンセプト

本会は、診療情報管理士ならびに診療情報管理に携わる者が相互連携にて、兵庫県における地域に密着した内容の情報交換や学習をすることにより、診療情報管理等の能力を向上させ、地域における診療情報管理分野を発展させることを目的としております。

研究会・グループワークのプログラムは、現場の事務職員として病院から求められるスキルや情報、皆様から「こんな勉強がしたい」というお声を基に、内容や演者を考えてご案内しています。

ご参加いただくことで知識の吸収はもちろん、県下の同じ業種の方と接することで、モチベーション向上や自身の人的ネットワークも広がります。相互に切磋琢磨しながら、気軽に相談できる方を見つけに来てください。



あなたの病院、施設の広報ページとしてお役にしてください

皆様の病院で情報発信したい内容がございましたら、このニューズペーパーの紙面をぜひご利用ください。当会事務局へお問い合わせくださいましたら幹事会で審議の上、掲載いたします（無料）

新しい診療についてのご紹介

院内でのイベント、講演会の広報

求人情報

掲載条件

- ① 発行は年2回（1・8月頃）
- ② 紙面の大きさは最大A4半分まで
- ③ 上記内容を軸に、幹事会で審議・承認されたもの

お役立ち情報

医事業務や診療情報管理、病院管理等に役立つ情報の URL、近隣の診療情報管理団体の活動状況等のご案内・URL を掲載します。

① 実践的病院経営マネジメント人材養成プラン（M×M KOBE）

当会会長がプログラムコーディネータとして参画している神戸大学の医療経営人材養成プログラムです。我が国をリードする先端的医療における研究・診療の拠点である医学部附属病院と、経営学・会計学・商学の中核的な教育研究拠点である経営学研究科が相互連携し、病院内の様々な医療、経営管理データを用いて医療の質や安全、効率性、財務健全性などに関わる課題を認識し、客観的証拠に基づいて高度で実践的な課題解決に取り組める能力を備えた人材育成を目的とした文部科学省 平成 29 年度大学教育再生戦略推進費「課題解決型高度医療人材養成プログラム」事業です。

URL <http://www.med.kobe-u.ac.jp/mmkoobe/>

② 平成 30 年度診療報酬改定について（厚生労働省）

URL <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411.html>

本誌に関するお問い合わせはホームページ（<http://www.hyogohim.org>）から承っております



公式 Facebook ページ開設いたしました。

<https://www.facebook.com/HyogoHIM/>

より多くの皆様に、リアルタイムに情報をお届けしてまいります。

兵庫県診療情報管理研究会 NEWS PAPER vol.3（発行：2018年6月1日）

Hyogo Health Information Management Society.



兵庫県診療情報管理研究会

NEWS PAPER VOL.3

第 12 回研究会のご報告

講師：一般社団法人日本血液製剤機構事業本部 事業戦略部 参事 谷澤正明様

◆ 参加者アンケート結果 ◆ ご参加いただいた方の声



新会長就任のご挨拶

神戸大学大学院 医学研究科 医科学専攻
地域社会医学・健康科学講座 医療システム学分野
医療経済・病院経営学部門
特命准教授 小林大介 先生

新会長就任基調講演

公開データから見る自院の立ち位置と機能、 医療経営視点での問題点のを見つけ方

2018年7月21日（土）14:00～ 兵庫県中央労働センター

第 13 回
研究会

第 12 回研究会 兵庫医療大学オクタホールにて

<http://www.hyogohim.org>



次回研究会のご案内

第13回 兵庫県診療情報管理研究会

兵庫県診療情報管理研究会 新会長就任のご挨拶

神戸大学大学院 医学研究科
医科学専攻 地域社会医学・健康科学講座
医療システム学分野
医療経済・病院経営学部門

特命准教授 **小林大介**

Daisuke KOBAYASHI, M.P.H.



石坂 前会長からのご推薦をいただきまして、平成30年4月に会長に就任いたしました、神戸大学の小林です。

私は診療情報管理士ではありません。しかしながら、これまでNDBやDPCデータ等の医療情報・ビッグデータを用いた医療経営分析や医療政策分析を主に行ってまいりました。

例えば、東京大学では全国の国立大学病院のDPCデータや財務・組織データを収集し、病院機能のベンチマークを行うためのデータ分析や指標の作成・助言等を行ってまいりました。また名古屋大学では、院内では各部署でのクオリティインディケータ（QI）の設定・評価の指導など、院外では愛知県内のDPCデータを用いて地域医療構想や地域保健医療計画策定に資する政策分析や、病院移転シミュレーション、病院経営分析などを行ってまいりました。現在も愛知県医師会地域医療政策研究機構委員会の委員として、地域の医師確保や偏在の是正に向けた調査・分析を行っております。

さらに現職の神戸大学では、医療経営人材の育成ということで「実践的病院経営マネジメント人材養成プラン（M×M KOBE）」のプログラムコーディネータとして、地域での自院の立ち位置をふまえた上での医療経営について、理論だけではなく実践的に学べる場の提供を目指して奮闘しているところです。

現在日本における医療制度は国民皆保険を基盤としてすべての国民が平等に安価に医療を受けられる制度となっております。しかしながら少子高齢化が進み、国の財政が厳しい状況になっているにもかかわらず国民医療費は増加し続けており、この医療制度の維持についても様々な議論が沸き起きているのも現状です。このような状況下で、今後の医療制度・医療政策や、医療経営について、本会を通じて皆さんと一緒に考えていきたいと考えております。

本会についてお一人でも多くの方にご興味を持っていただきまして、勉強会へご参加いただき、会員となっただけですようお願いいたしますとともに、役員一同、兵庫県全体の診療情報管理分野の発展に寄与し、それを通じて日本の医療の未来に貢献したいと考えておりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

2018年度を迎え、当会は新会長に神戸大学大学院 特命准教授 小林大介先生をお迎えいたしました。先生はこれまでNDBやDPCデータ等の医療情報・ビッグデータを用いた医療経営分析や医療政策分析を主に行ってこられたスペシャリストです。

この度は新会長就任基調講演として、公開データ分析から自院の立ち位置と機能を知り、医療経営視点での問題点のを見つけ方をテーマにご講演いただきます。

ご多忙とは存じますが、皆様にとって有用な情報を提供できる会と考えておりますので、ご参加の程よろしくようお願い申し上げます。

日時

2018年7月21日（土）14:00～16:00（13:30受付開始）

テーマ

新会長就任基調講演
**公開データから見る自院の立ち位置と機能、
医療経営視点での問題点のを見つけ方**

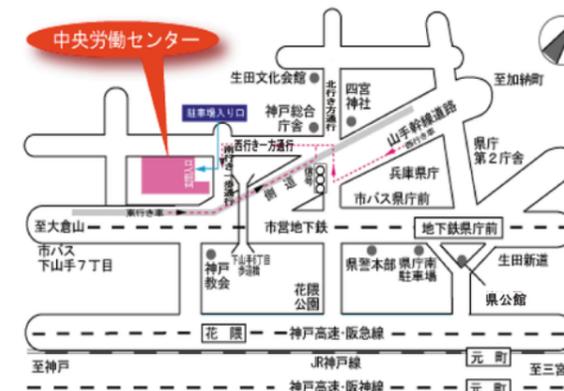
定員 **90** 名
他府県の方の参加歓迎！

講師

兵庫県診療情報管理研究会 会長
神戸大学大学院 医学研究科 医科学専攻 地域社会医学・健康科学講座
医療システム学分野 医療経済・病院経営学部門 特命准教授 **小林大介** 先生

会場

兵庫県中央労働センター 1階ホール
〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号



- 神戸市営地下鉄「県庁前」駅
西出口 西へ徒歩 5～7分
- 神戸高速鉄道「花隈」駅
東口 北へ徒歩 5～7分
- JR西日本「元町」駅
西口 西へ徒歩 10～15分
- 阪神電鉄「元町」駅
西口 西へ徒歩 10～15分

参加費

1,000 円

16時より同会場で懇親会を行います（別途参加費500円）
お菓子と飲み物をご用意いたします。和やかな雰囲気の中で、
質疑応答や名刺交換等で親睦を深めましょう！

申込方法

兵庫県診療情報管理研究会のホームページよりお申し込みください。
申込期限：2018年7月15日（日）17時まで

お問合せ

ホームページ ▶ <http://www.hyogohim.org>

メール ▶ info@hyogohim.org



第12回診療情報管理研究会を受講して

医療法人回生会 宝塚病院 黒田千智様



本年度の診療報酬改定に伴い、様々なセミナーを受講しましたが、その多くは医療構想の流れに重きを置く内容でしたので、業務レベルと直結せず、現場に落とし込む作業が困難でした。

谷澤先生のセミナーでは、医療構想から実際の病院現場でのモデルケースまで紹介して頂いた、きめ細やかな内容で、自院を想定しながら受講できました。

セミナーを受け、実務では、副傷病名のコーディングも精度を上げるようにしました。データ提出ファイルはチェック対象外でも整合性の合う内容か否かをチェックし、より精度の高いデータ作成を意識しています。

また、これまでDPCで包括されていた処置や注射など記録が必ずしも十分とはいえませんでした。今回看護必要度の新方式(EFファイル評価)に対応すべく、全ての医療行為のデータ登録するよう業務の見直しを行いました。

今後は医療圏の疾病シェア率や、救急受容率の現状公開をして頂いたのを参考に自院のベンチマークを意識した分析を行いたいと思います。



医療法人回生会 宝塚病院

所在地：〒665-0022 兵庫県宝塚市野上2丁目1番2号
<http://www.takarazuka-hospital.com/>

当院は宝塚西部に位置し、映画『阪急電車』の舞台である阪急今津線逆瀬川駅の至近にあります。病床数131床で小規模ですが、救急指定病院であり、内科系・外科系合わせて19診療科で年間約5100名の救急対応をしています。また血管カテーテル治療(年間300症例超)と腎疾患(透析センターは終日稼働です)専門でもあり、救急から継続診療まで多岐に亘り、地域密着の良質な医療提供をしていると自負しています。

第12回兵庫県診療情報管理研究会に参加して

医療法人薫風会 佐野病院 水守敬一様



この度、兵庫県診療情報管理研究会の幹事役員の方からお誘いを頂き、第12回兵庫県診療情報管理研究会の研修会に初めて参加させて頂きました。

講師である谷澤先生の豊富な経験に裏付けされた診療情報の内容には驚きの連続でした。中でも診療情報をデータ化することで、日本の医療が過去から現在、現在から未来へと変化していく過程が詳細に理解できました。

そのことにより、自分の病院が何を目指すべきなのか、どの方向へ向かっていけば良いのかが鮮明になったことです。

今後、2025年へ向けた医療改革に伴う診療報酬改定などあらゆる医療情勢の変革に柔軟かつ適切に対応できる知識をこの研修会で学べたと思います。



医療法人薫風会 佐野病院

所在地：〒655-0031 神戸市垂水区清水が丘2-5-1
<http://www.sano-hospital.or.jp/>

佐野病院は1888年(明治21年)に創設され、今年で130周年を迎えます。以前は小児科や産婦人科がある総合病院でした。特に産婦人科は佐野病院の名を広める原動力となり、日本で初めて『院内助産所』を立ち上げた病院でもあります。2006年(平成18年)に4代目院長佐野寧が就任し、急増している大腸がんをはじめとする『消化器がん専門病院』として大きく方向転換をしました。今では内視鏡検査・治療はもちろん、腹腔鏡手術、子宮鏡手術、抗がん剤治療、緩和ケアにも力を入れております。

第12回研究会 参加者アンケート結果のご報告

日時：2018年3月17日（土）14時～
講師：一般社団法人 日本血液製剤機構 事業戦略部 谷澤正明 様
テーマ：平成30年度診療報酬改定の概要と対応のポイント
～急性期病院はいかに対応するか～
場所：兵庫医療大学 オクタホール
参加人数：254名

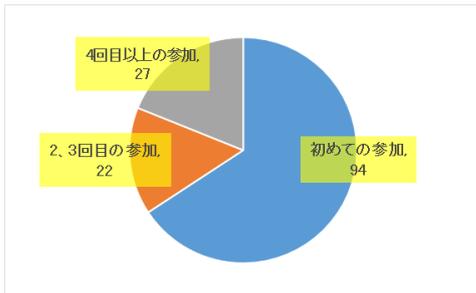


講師：谷澤正明様

参加者アンケート結果（回答数：146）

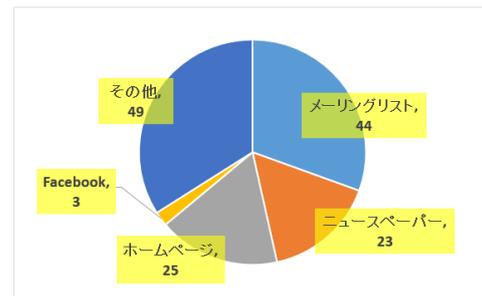
当研究会の参加回数について

回答 143名、無回答 3名



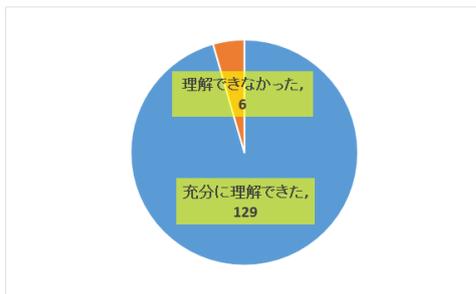
今回の研究会開催は何でお知りになりましたか？

回答 144名、無回答 2名



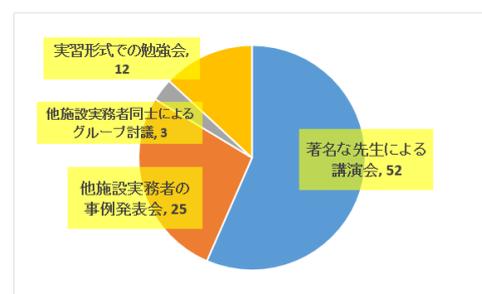
本日の内容は理解できましたか？

回答 135名、無回答 11名



希望する研修会形式について

回答 92名、無回答 54名



本日の研究会についてのご意見や感想があればお書きください 回答 38名、無回答 108名

- ・ わかりやすかった。次回も参加したい。
- ・ DPC に関する説明が多くて良かった。
- ・ データ分析に関する講演等があれば参加したい
- ・ 200床未満の病院の症例などご教示いただきたい。
- ・ 改定時だけでなく改定後にもこのような企画を立ててほしい。
- ・ 参加費 2,000円 でこの内容は十分満足できました。
- ・ 谷澤先生が講師で良かった。

今後取り上げてほしいテーマ 回答 13名、無回答 133名

- ・ DPC データ分析、活用（4名）
- ・ DPC コーディング（3名）
- ・ がん登録（3名）
- ・ 医師事務作業補助者のスキルアップ（1名）
- ・ インシデントの対応方法について（1名）
- ・ 急性期病院、回復期等各勉強会を希望（1名）



石坂前会長のご挨拶



会場の様子